

【保護者】木津川市立小・中学校の 今後の在り方検討に関するアンケート調査 報告書

【目的】

義務教育9年間を見通し、中長期的な展望に立って、持続可能な社会の創り手として必要な資質能力を育むための良好な学習環境や、円滑な学校運営を行える教育環境に向けた検討をするにあたり、保護者・学校教職員の考え方を推察するため、アンケートを行った。

【回答】

▼保護者 回答：1,905人（回答率：26%）

市立中学校1・2年 対象：1,730人

市立小学校 対象：5,320人

市立幼稚園 対象： 330人

※アンケート回答者として、園児・児童・生徒が複数おられる場合は、年長者の状況で回答を得ているため、保護者全員が回答した場合でも100%になりません。

※対象者数は2022年3月1日現在の人数です。

▼教職員（市立小中学校の常勤教職員）

市立小・中学校 回答：259人（回答率：51%） 対象：510人

【期間】

令和4年3月4日～3月27日

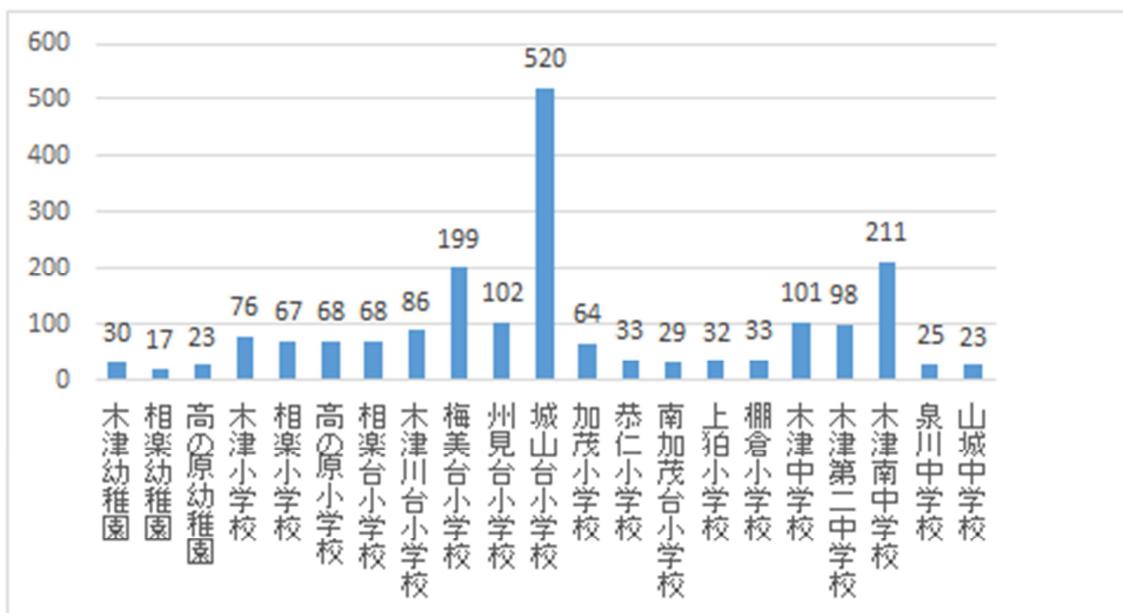
【方法】

Microsoft Forms を活用したネット回答

ネット回答ができない方は、別途、紙でのアンケート回答（学校・幼稚園から配布）

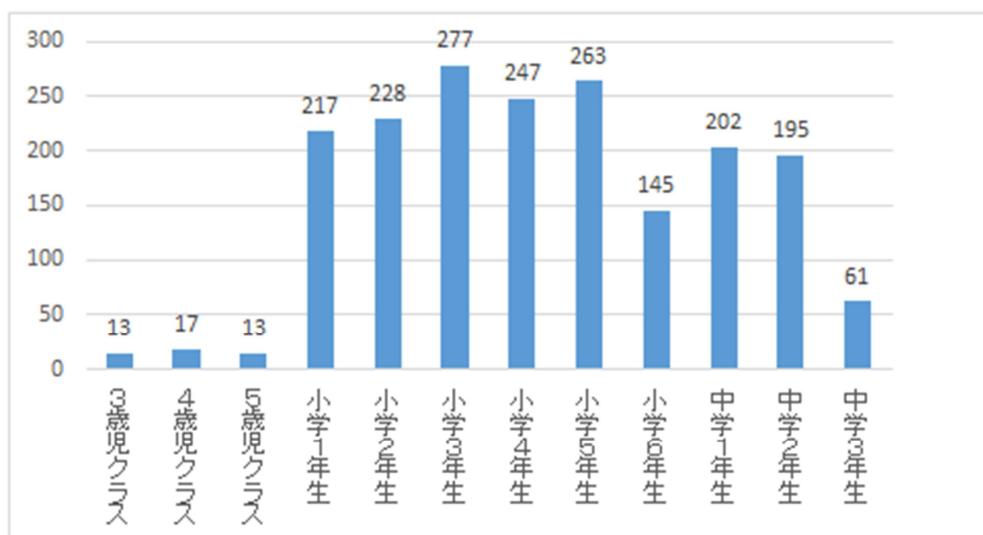
問1－1

あなたのお子様が通園・通学しているのはどこの学校ですか。1つ選択してください。
全体で1,905件の回答があり、回答率は、幼稚園21%、小学校26%、中学校26%で、学校別では、恭仁小学校72%、城山台小学校44%、木津南中学校35%の順となっております。



問1－2

あなたのお子様は何年生ですか。1つ選択してください。

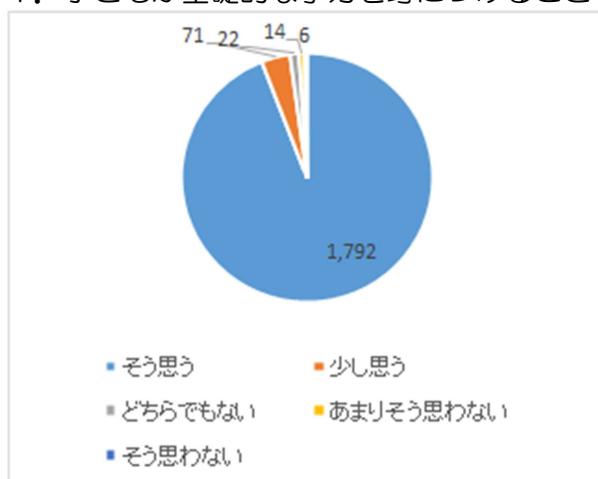


問2 どういった学校であってほしいですか？

学校に求める次の項目について、あなたの考えに近いものの数字1つに○をつけてください。

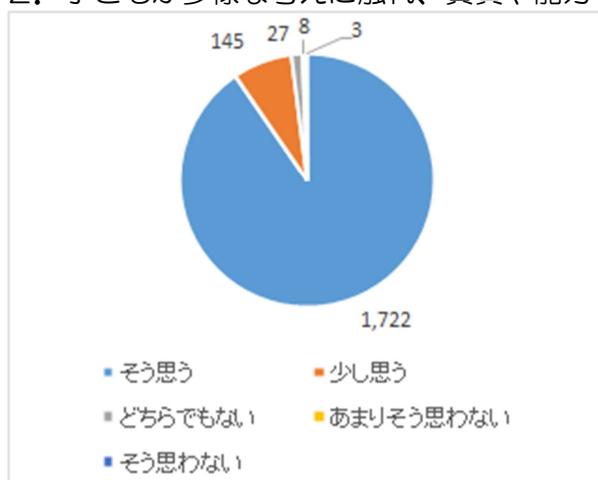
「そう思う」と回答した割合が約9割であったのが、「1. 子どもが基礎的な学力を身につけること（94%）」「2. 子どもが多様な考えに触れ、資質や能力を伸ばすこと（90%）」「3. 子どもが社会のルールやマナーを身につけること（90%）」「12. 安心安全な施設設備環境を維持すること（90%）」「5. 子どもが人間関係を学ぶこと（89%）」でした。

1. 子どもが基礎的な学力を身につけること



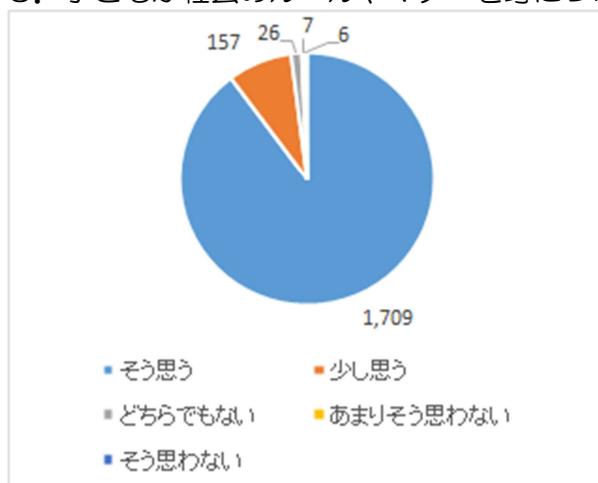
選択肢	人数	割合
そう思う	1,792	94%
少し思う	71	4%
どちらでもない	22	1%
あまりそう思わない	14	1%
そう思わない	6	0%
計	1,905	100%

2. 子どもが多様な考えに触れ、資質や能力を伸ばすこと



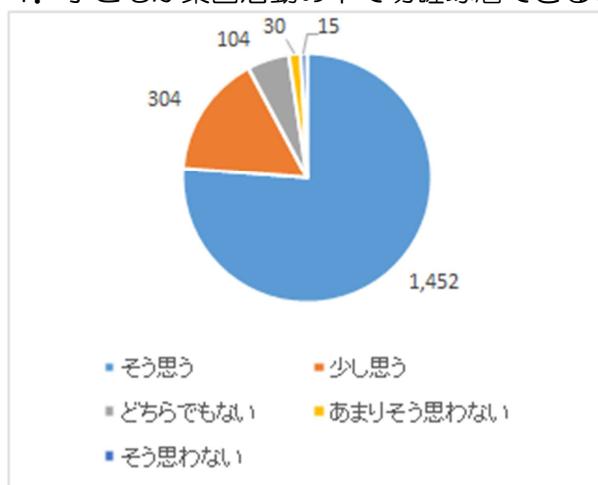
選択肢	人数	割合
そう思う	1,722	90%
少し思う	145	8%
どちらでもない	27	1%
あまりそう思わない	8	0%
そう思わない	3	0%
計	1,905	100%

3. 子どもが社会のルールやマナーを身につけること



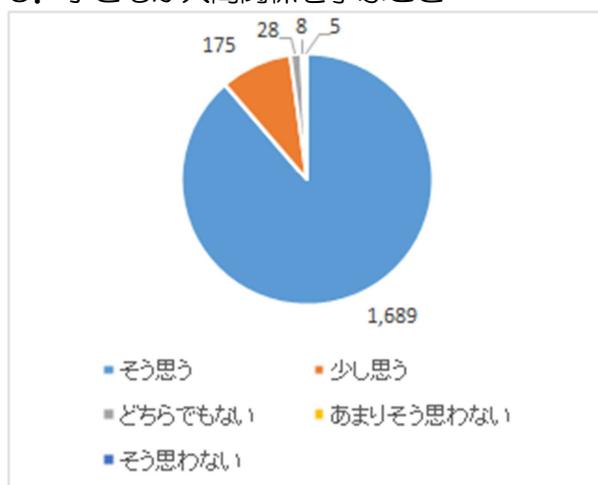
そう思う	1,709	90%
少し思う	157	8%
どちらでもない	26	1%
あまりそう思わない	7	0%
そう思わない	6	0%
計	1,905	100%

4. 子どもが集団活動の中で切磋琢磨できること



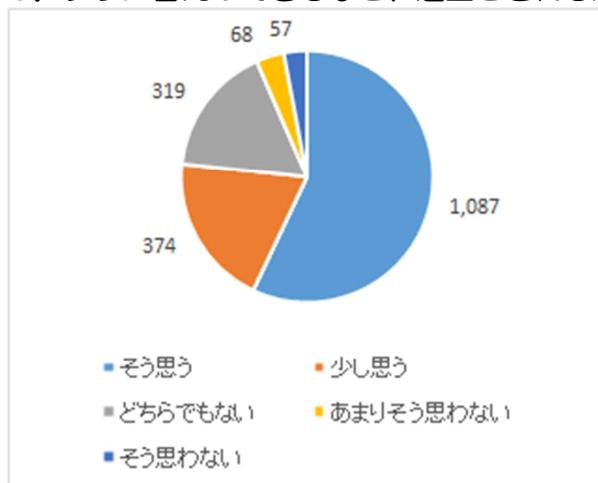
そう思う	1,452	76%
少し思う	304	16%
どちらでもない	104	5%
あまりそう思わない	30	2%
そう思わない	15	1%
計	1,905	100%

5. 子どもが人間関係を学ぶこと



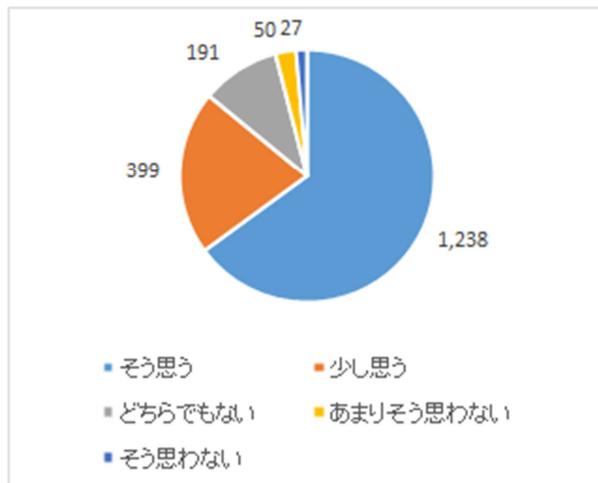
そう思う	1,689	89%
少し思う	175	9%
どちらでもない	28	1%
あまりそう思わない	8	0%
そう思わない	5	0%
計	1,905	100%

6. クラス替えができるなど、適正とされる規模を確保すること



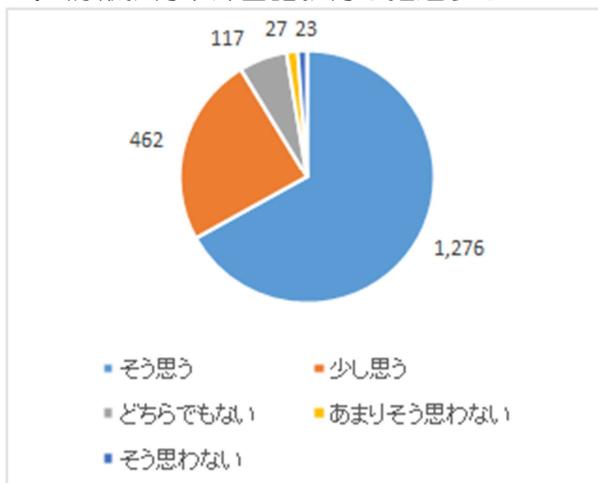
そう思う	1,087	57%
少し思う	374	20%
どちらでもない	319	17%
あまりそう思わない	68	4%
そう思わない	57	3%
計	1,905	100%

7. 義務教育9年間を通じ、系統的・継続的な学習を行うこと



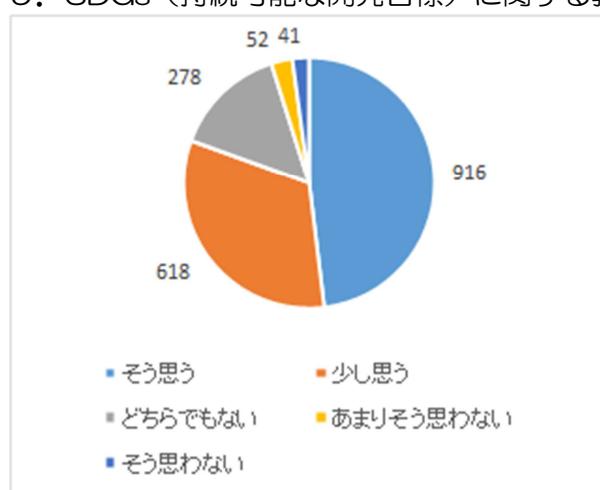
そう思う	1,238	65%
少し思う	399	21%
どちらでもない	191	10%
あまりそう思わない	50	3%
そう思わない	27	1%
計	1,905	100%

8. 情報教育や外国語教育を推進すること



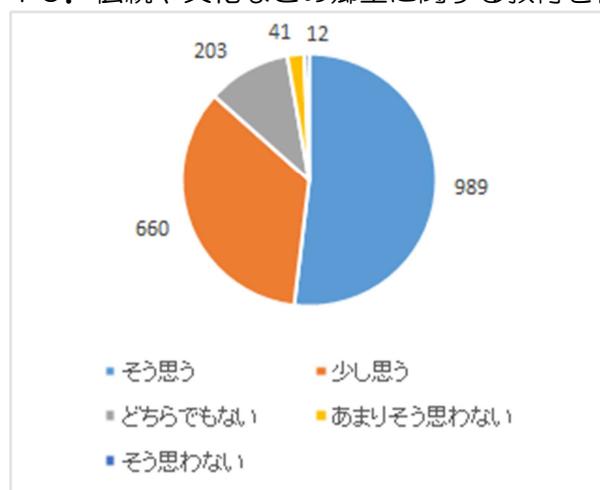
そう思う	1,276	67%
少し思う	462	24%
どちらでもない	117	6%
あまりそう思わない	27	1%
そう思わない	23	1%
計	1,905	100%

9. SDGs（持続可能な開発目標）に関する教育を行うこと



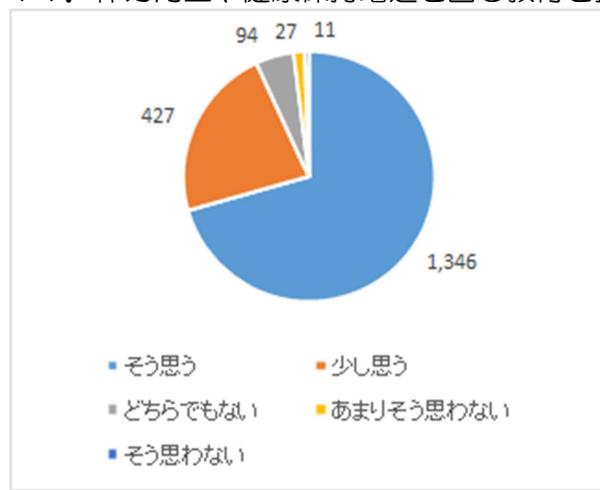
そう思う	916	48%
少し思う	618	32%
どちらでもない	278	15%
あまりそう思わない	52	3%
そう思わない	41	2%
計	1,905	100%

10. 伝統や文化などの郷土に関する教育を行うこと



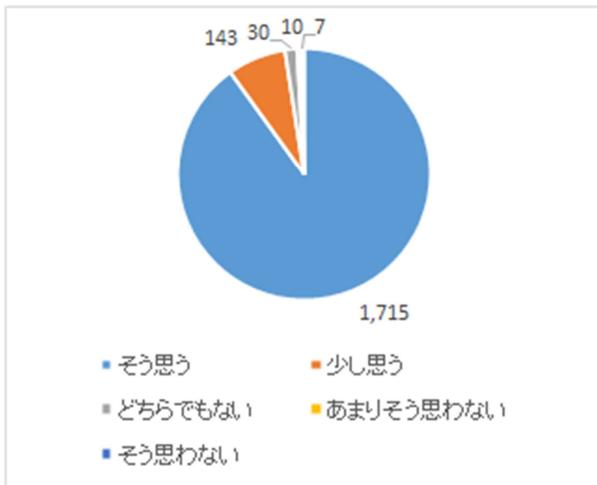
そう思う	989	52%
少し思う	660	35%
どちらでもない	203	11%
あまりそう思わない	41	2%
そう思わない	12	1%
計	1,905	100%

11. 体力向上や健康保持増進を図る教育を推進すること



そう思う	1,346	71%
少し思う	427	22%
どちらでもない	94	5%
あまりそう思わない	27	1%
そう思わない	11	1%
計	1,905	100%

12. 安心安全な施設設備環境を維持すること

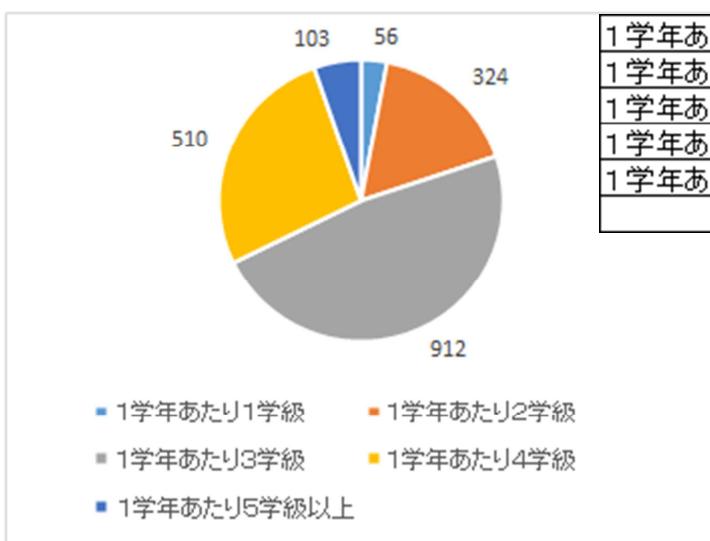


そう思う	1,715	90%
少し思う	143	8%
どちらでもない	30	2%
あまりそう思わない	10	1%
そう思わない	7	0%
計	1,905	100%

問3-1（小学校について）

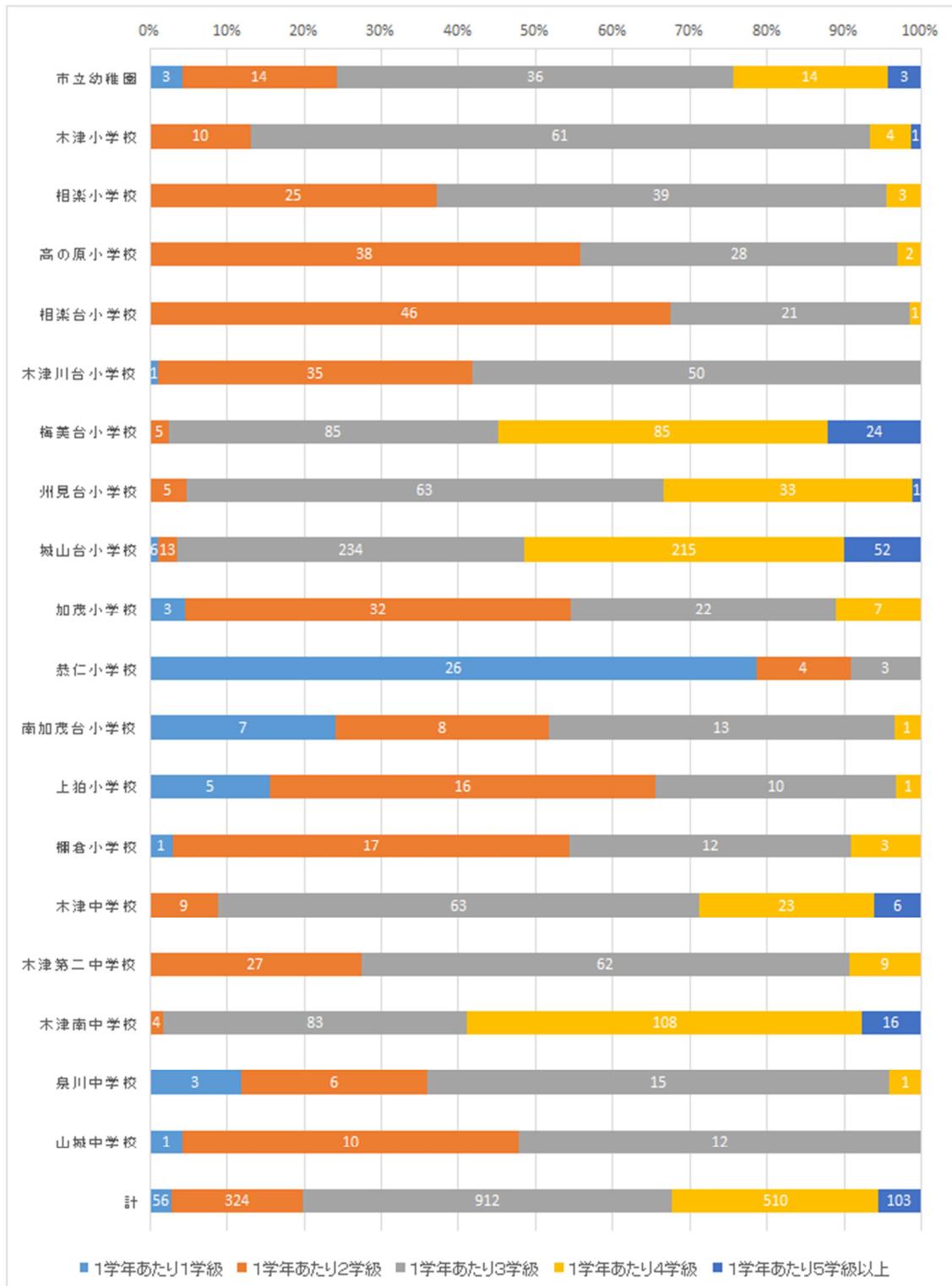
小学校での学級数について、法令の標準は「1学年あたり2～3学級（1学校あたり12～18学級）」になっていますが、どの程度の学級数が望ましいと思われますか。1つ選択してください。

一番回答率が高かったのは「1学年あたり3学級（48%）」でした。二番目に高かった「1学年あたり4学級（27%）」を合計すると、全体の75%を占めます。



1学年あたり1学級	56	3%
1学年あたり2学級	324	17%
1学年あたり3学級	912	48%
1学年あたり4学級	510	27%
1学年あたり5学級以上	103	5%
計	1,905	100%

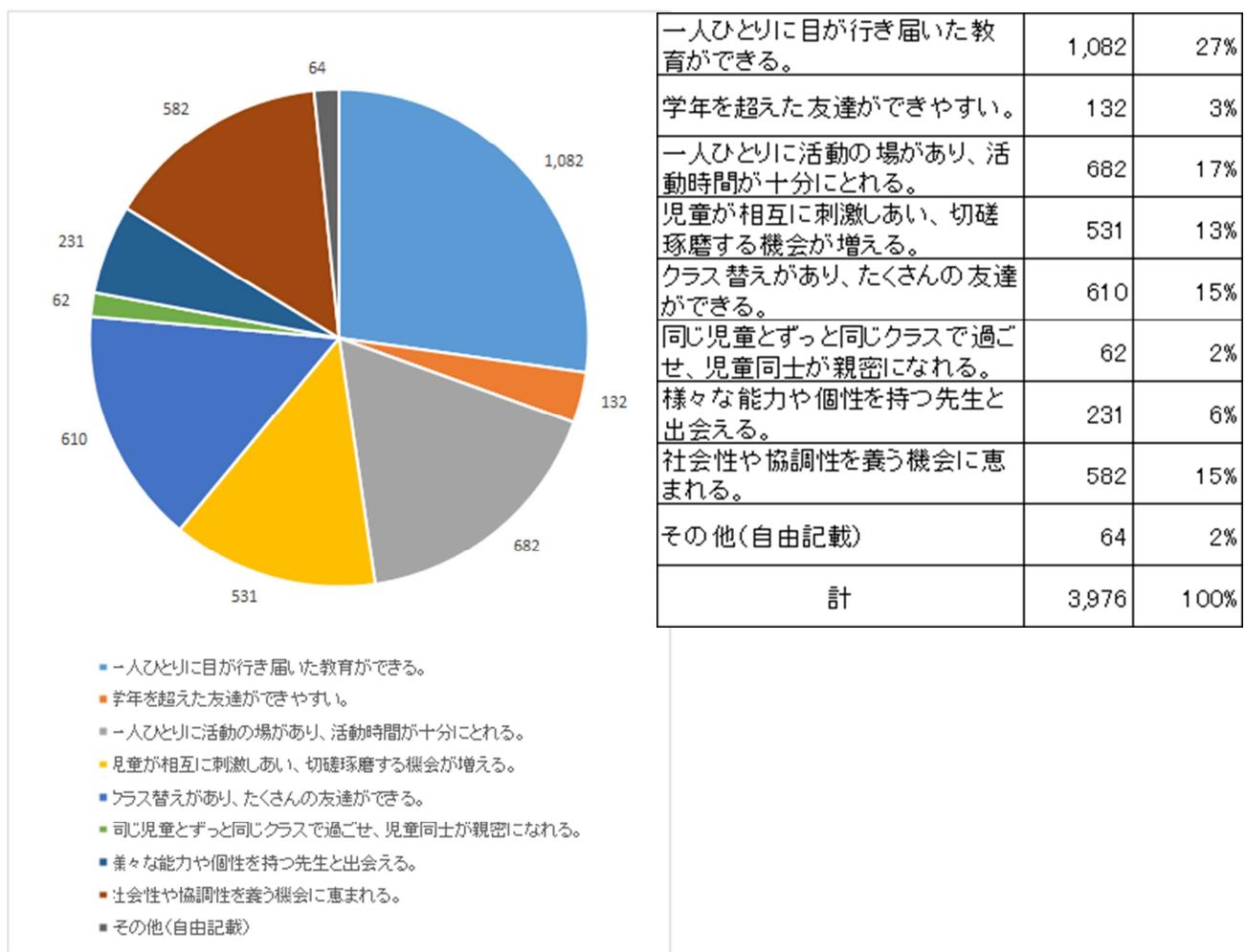
【園・小学校・中学校別】



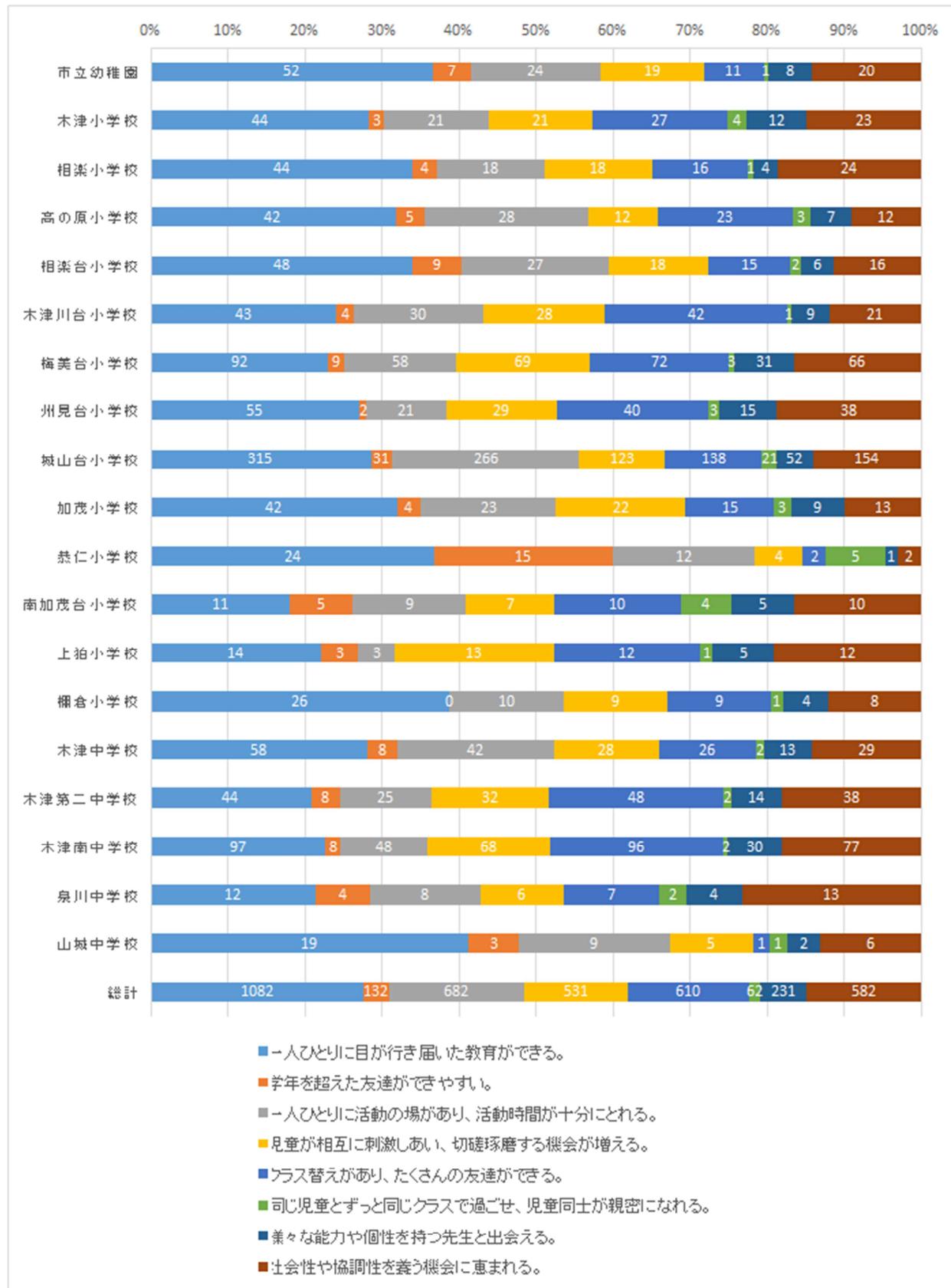
問3-2（小学校について）

問3-1で選択された学級数の理由を2つお答えください。

一番回答率が高かったのは「一人ひとりに目が行き届いた教育ができる（27%）」で、次に15%前後に4項目「一人ひとりに活動の場があり、活動時間が十分にとれる（17%）」「クラス替えがあり、たくさんの友達ができる（15%）」「社会性や協調性を養う機会に恵まれる（15%）」「児童が相互に刺激しあい、切磋琢磨する機会が増える（13%）」となっています。



【「その他」以外の園・小学校・中学校別】



(自由記載)

- 城山台小学校は多すぎる。あじさいを一人一つ育てるなど、他の学校でできることを普通にできる数にしてほしい
- いじめなどがあったときにクラスが複数あれば逃げ場ができる
- 出し物の迫力がある。多すぎると逆に大変そうなので。
- 何か問題がある生徒同士を離せる
- 私自身の母校が6クラス以上ある学年ばかりで小学校敷地内にプレハブ校舎(2階建て含め)が建った記憶げあり、クラス内の人数と職員配置数、施設規模が適切であれば良いのではないかという考えです。
- 学年全体に仲間意識ができる
- 先生方の連携がとりやすい丁度良い学級数だと考える為。
- 居住地域で育つことが1番良いと思う
- クラスの多さ少なさどちらにもいい点があるように思います
- 上の選択肢では選ぶのが難しい
- 一緒にさせたくない子と離れられる
- より少ないほうがいいけれども常に同じメンバーは困るので、学年1クラスでも学年混合の習熟別クラス編成にしてほしい。
- 単級では、人間関係が構築されたらそれがずっと続く
- 一人一人を覚えられる。
- いじめっ子とクラスを離す為には複数のクラスが必要だと考える
- 2クラス以下の学校は閉校などと誤った判断には反対だから
- もしいじめやどうしても合わない友達がいても、クラス替えで離れる事ができる
- 現状、多学級も致し方ない
- 人数が多いのでどれもあまり当てはまりません。
- 必要であれば仕方ない。多い分、一人一人に目が行き届くような対策は必要。
- 運動会のブロック分けがしやすいから。
- 児童・教師・親ともに双方（もしくはそれぞれ同士）を把握しやすい。
- 理由はない
- その地域によるから。
- 多すぎると親も子も同級生把握できない
- クラス数が少ないと人間関係が固定され、閉鎖的な空間になりやすいため。
- いじめやトラブルがあった場合、1学年1クラスでは6年間対象の子供と離れることができず、つらい。現在の2クラスでも少ないとと思うが、1クラスよりはまだ救いがある。ただクラス数が多すぎても、先生の目が行き届かないで良くない。
- 2クラスだと担任やクラスの友達が当たりだ、はずれだと保護者の間で必ず話が出る。2クラスだとあまりにも比較しやすいので。
- 閉鎖的な環境は良くも悪くもある
- クラス替え希望制度的なものを導入してはいかがか？
- 環境の変化による価値観の多様性
- クラス替えで新しい友達、以前からの友達がいい具合に入れ替わるクラス数だから
- 保護者も同じ学年の児童の名前を把握でき、自分の子ども以外の子どもにも感心が持てるから
- 数クラスある方が先生方も閉鎖的になりにくい。色々な意見のなか生徒を見守って頂けるような気がする。
- なんとなく
- 体育などの時間も十分にとれる

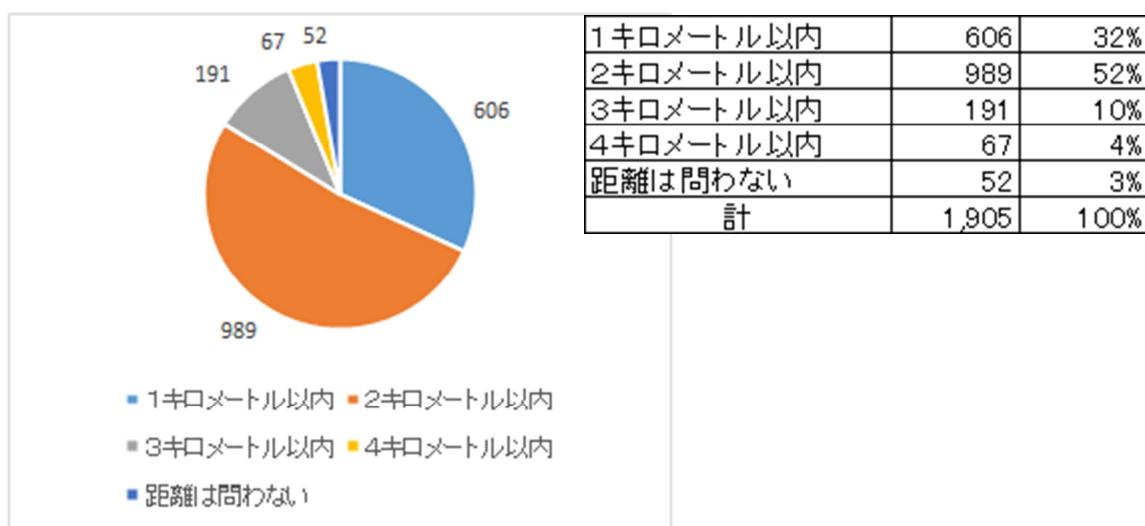
- 設備的な面での限界
- 3学級程度が少なすぎず、多すぎず適切と思うから。
- 上級は1学年なの当てはまりません
- 学級数が少ないと人間関係で合う時はいいが合わない人がいるとクラス替えなどで同じになりやすい
- クラスの数は教員の質と一クラス人数が40人前後の適正数であれば関係ないです。学校の総児童数が多すぎることのほうが安全面では問題だと考えます。
- 生徒数が少な過ぎると子供と気の合う仲間がいなかったり、多すぎると目が届かないから。
- 色々な価値観をもつ友達と交流して世界が広がる
- 人数によってクラスの数の増減は仕方のないこと、無理にクラス数を決めなくてもいいと思う。それによって得られるものもあると思う。
- 学級数は問わない
- 現在の人数が20名程度と元々少ないので、クラスを複数作る事自体が不自然
- 行事等の関係
- 学級あたりの人数の記載が無いため、回答しかねます
- 嫌いな事、苦手な事から逃げずに、自分自身の中での妥協点や折り合いを見つけて、人生の価値観に幅を持つことができる。
- 多すぎるのは行事が大変すぎるが、1クラスは少し寂しいし、気の合わない友達がいても離れられないから
- 学級数ありきではなく、子供の人数によって適正な学級数が決まるのだと思うのですが…。
- いじめ対策
- 1学級だけだと、人間関係のもつれがあった時に逃げ場がないことが心配です。
- 年齢性別で固定されない関係性を築ける。人数が多いことが多様性だなど、短絡的な考えだと思う。
- 多すぎないほうが同じ学年にどんなこがいるかもわかり、関係性がつくりやすいのではないか。
- 学年あたりの児童数よりも、学級あたりの児童数の方が、小学生には影響が大きいと思う。
- そのクラスに馴染めない時にクラス替えがあれば助かる。
- 人間関係に問題があっても修復できる人数
- 環境の変化による価値観の多様性

問3－3（小学校について）

小学校での通学距離について、法令の標準は「おおむね4キロメートル以内であること」「おおむね1時間以内を目安とする」になっていますが、徒歩により、どの程度までが通学可能範囲と思われますか。1つ選択してください。

※徒歩による1kmの所要時間は、おおむね15分前後としています。

一番回答率が高かったのは「2キロメートル以内（52%）」で、次に回答率の高かった「1キロメートル以内（32%）」を合計すると、全体の85%でした。



【園・小学校・中学校別】

